

全部

新ジャンル「五・七・五」

1 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 17:22:54.31 ID:bLQh9aQx0

男「ヤベー 弁当忘れた」  
女「もしよくば 私の弁当 食べないか」  
男「あー大丈夫 友達から金借りるから じゃな！」  
女「……………」

女「わが思い いつになったら 救われん……………」

2 : **ヤムチャ投120m** : 2007/01/24(水) 17:26:49.02 ID:5NKBVqXX0

いまここで  
新参者の  
2getなり

3 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 17:27:28.91 ID:nChek4sm0

男さん  
好きな食べ物  
なんですか

5 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 17:59:41.90 ID:7j3NMHVCO

>>3  
ウニだけど

6 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:07:52.98 ID:bLQh9aQx0

女「ウニ寿司を 男のために 持ってきた」  
男「お、マジか サンキュー」  
女「……………」  
男「お、うまい いいウニだな」  
女「……………」  
男「ん？ どうした？」  
女「ウニ代が 私の小遣い かすめとる」

男「……………金出せと？」  
女(コクリ)

7 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:15:05.78 ID:bLQh9aQx0

女「べっ、別に あんたのためじゃ ないからね」  
男「ツンデレか？」

8 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:22:59.90 ID:bLQh9aQx0

自分で考えたけど難しいなって思った

10 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:34:29.41 ID:qpdUM9U10

女「男さん あなたに贈る 恋の花」  
男「サンキュー。で、この花の名前は？」  
女「名はヒミツ 乙女に言えぬ 恥ずかしい」  
男（イヌフグリあたりか？）

11 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:38:41.13 ID:LGv7ofmx0

女「唐突に 一つ聞きたい 事がある」  
男「どうしたよ？」  
女「貴方には 気になる人とか いないのか？」  
男「...いるっちゃいるけど...お前はどうかだよ」  
女「私はね 貴方の事が 大好きだ もしも良ければ 付き合わないか？」  
男「な、ちょ、マジか？」  
女「こんなにも 頬が熱いの 初めてだ」  
男「.....いいよ、付き合おう」  
女「本当か？ 泣きたくなるほど 嬉しいぞ...」  
男「...べ、別にお前が気になるとかそういうのじゃないからな！！」  
女「(なるほどな 男の属性 ツンデレか...)」

12 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:47:10.00 ID:bLQh9aQx0

男「お前って普通に喋れないのか？」  
女「字余りで 吐き気がするから 多分無理」  
男「大変そうだな」  
女「楽しいぞ 慣れれば割と 楽しいぞ」  
男「いや俺はいいよ...」

13 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:47:55.55 ID:Jd5ca1Pz0

男と女の日常会話が連歌になったらステキ

14 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 18:53:01.52 ID:bLQh9aQx0

そこまでのクオリティ俺にはない...

15 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 19:02:03.25 ID:LGv7ofmx0

女「なあ男 帰りにダイエー 寄らないか？」  
男「別にいいけど 何をするんだ？」  
女「君のため 私の手料理 食べさせたい」  
男「それは何とも 嬉しい事だ」  
  
男「だが女 得意料理は 何なんだ？」  
女「...チキンラーメン ...UFO焼きそば」  
男「...気持ちはさ 伝わったから 落ち込むな 料理は俺が 作ってあげる」  
女「...ありがとう そんなお前が 大好きだ」

16 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 19:12:39.52 ID:bLQh9aQx0

>>15

うめえwww

17 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 19:18:29.05 ID:Y67T9M0j0

女「おい男」  
男「何だ今度は」

女「これを見る」  
ペットボトルに 見慣れた名前

18 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 19:21:29.12 ID:LGv7ofmx0

女「やぁ男 休みというのに 奇遇だな」  
男「待ち伏せは 奇遇と普通 言わないぞ」  
女「気にするな 早速私と デートしよう」  
男「( 予定も無いし 別にいいかな... )」

男「...何故ココに 俺と一緒に 来るんだよorz」  
女「下着売り場だ 興奮したか？」  
男「場所はいい 分かってるから それよりも 俺と来る意味 何かあるのか？」  
女「...後学に 君の好みを 知りたくて」  
男「恥ずかしいなら 無理するなって」

男「...ちなみにな 俺は青とか 結構好きだ」  
女「えっちなヤツだな ...覚えておこう」

19 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 19:26:26.49 ID:bLQh9aQx0

男「おー ここが女の家か」  
女「先に言う 我が家は歌で 会話する」  
男「へー まあだからお前もそうなんだろうな・・・」  
女「客人も 例外などは 認めない 男も今日は 和歌しかダメだ」  
男「何?! ちょっと待て! そんなギリギリで・・・」  
女「では行くぞ 男の歌に 期待する」

23 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 20:31:58.45 ID:bLQh9aQx0

>>19の続き

女母「おいでやす なにもないけど ごゆっくり」  
男「(うわー すげー和服美人・・・って何か返さなければ・・・歌で・・・)」  
男「お初です 僕が男と 申します(なんてひどい歌・・・)」  
母「女から いつも話は 聞いてます 女のことを どうぞよろしく」  
男「(は、早い・・・さすがだ・・・)」  
男「こ、こちらこそ いつもお世話に なってます(普通に話したみたいになったが・・・)」  
女「男君 やっぱりやれば できるのね」  
男「・・・(いいみたいだな・・・ てかもし結婚したらどうなるんだ・・・)」

20 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 19:33:39.21 ID:mvg7KMRHO

保守するか人が増えれば 嬉しいな

21 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 19:48:59.12 ID:LGv7ofmx0

男「寒いなぁ 温まりたい そんな時」  
女「私の愛なら ホットするかも」  
男「...女さん 顔が赤いぞ どうしたの？」  
女「...自分で言ったが 恥ずかしかった」  
女「...恥ずかしい こんな時には どうすれば」  
男「俺の愛なら ホット出来るぞ」  
女「...貴方もね 顔が赤いの 気付いてる？」

男「...ちょっとだけ 言ってみただけど 超後悔 確かにこれは 諸刃の刃か」orz

- 22 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 20:15:13.60 ID:LGv7ofmx0  
女「やぁ男 ちょっと飲み物 買ってきて」  
男「別にいいけど 何が飲みたい？」  
女「とりあえず 先にお金を 渡しとく」  
男「おい女 ジュース一つに 千円も!？」  
女「マックスコーヒー 一つよろしく」  
男「...お前さん 俺にチバラギ 行けってか？」
- 24 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:14:19.08 ID:XPreMAQu0  
>>1が女のセリフを575  
男のセリフもさり気なく575にしているのは狙ってやったのか？
- 25 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:18:47.55 ID:6KYPK0Hi0  
良スレを 落とすわけにはいかぬのだ
- 26 : **1** : 2007/01/24(水) 21:22:22.91 ID:bLQh9aQx0  
>>24  
「大丈夫 友達から金 借りるから」か本当だ575だ 天然でやってたw  
  
>>25  
ありがとう 心の底から ありがとう
- 27 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:24:41.30 ID:fr537Kov0  
俺の中  
女のイメージ  
地獄っ娘
- 28 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:26:44.27 ID:XPreMAQu0  
>>1さんは ホントに俳句 好きですね
- 29 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:28:52.89 ID:PUq+HV/s/0  
ゴゴゴゴゴ  
ドドドドドド  
ジョジョの音
- 30 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:30:16.49 ID:XPreMAQu0  
>>29 それなんて花咲か天使？
- 32 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:32:14.91 ID:oBXIaUz60  
結構ね  
五・七・五は  
奥深い
- 33 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:40:21.28 ID:bLQh9aQx0

34 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/24(水) 21:42:01.07 ID:9G449BP10

じゅくじょはね  
若いのいないと  
力でないよ

35 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/24(水) 21:45:56.65 ID:EfxfKQ0e0

やらないか  
ウホいい男  
マッガーレ  
ちんちんアナル  
くそみそくそみそ

38 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/24(水) 21:51:45.83 ID:bLQh9aQx0

>>35  
不覚にも 笑ってしまった くそみそに

36 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/24(水) 21:49:34.92 ID:8Dd25Sni0

良スレを  
ageてみようか  
保守ろうか

37 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/24(水) 21:51:03.15 ID:SdzA22DU0

こんな感じですか解かりません  
「お前さ、全ての会話五七五の俳句みたいにやってるけど」  
「ああそれが なんだろうかな おとこくん」  
自分の後ろの席。話し掛けた初っ端からそれを実践してくれやがった女に、  
前々から湧いていた疑問を思い切ってぶつけてみる事にしたのは数学の時間の事だった。

「季語入ってないよな？」

そこ、私語は慎め。教師の牽制。一回だけ前方を見る。  
黒板の数式が何を表しているのか解からない。よし次のテストは欠点だな。  
そう悟った後にまた後方に向けば、見事に相手が固まっていた。凶星か。

「そういえば そのような気も しないでもない」  
「字余り。動揺する程のことなのかそれは」  
なんならこれから会話に季語いれるか？ 笑いかければ  
「……………」

釈然としない感じにひそめられた眉毛。駄目か。

「じゃあまずは 男君から 実践で」

何だよその切り替えし。そう口元に張り付いた苦笑いを無理矢理ひっぺがしてから、  
少し真面目な表情を作ってやる。息を吸って、吐いて。

「五十音 最初の二文字 送ります」

相手の思考に一瞬の空白が生まれて、それから。

「……………君のはな、季語ではなくて 綺語と言う」

「うまい」  
そんなこんなの数学の時間。

- 39 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:55:04.00 ID:XPreMAQu0  
>>37  
なんてえか 平安チックな 雰囲気だ  
ぜんぜんそんな 場所じゃないのに
- 40 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 21:58:51.35 ID:bLQh9aQx0  
>>37  
いとうまし そんな感じで また頼む 自分の質の 低さを悔やむ
- 41 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 22:02:15.41 ID:bLQh9aQx0  
自分でも 季語がないのは 気づいてた 入れてしまうと 会話にならんw
- 42 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 22:25:06.46 ID:RIbWoR5E0  
季語がない そんなコトなら 構わない  
川柳と言う モノがあるから
- 43 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 22:32:15.83 ID:SdzA22DU0  
女「やいこおら >>42は こういっている」  
男「字余り。あんま怒るな」  
  
女「きみはなあ あの時しって いただろう」  
男「うん」  
  
女「じゃあなん「俺が言いたかったから」  
  
おそまつさまでした。  
>>42  
そう言えば そうだったよね 忘れてた
- 44 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 22:55:29.25 ID:bLQh9aQx0  
男「お前さ 発言が絶対五・七・五だよな」  
女「ええそうよ 何か問題 あるのかな？」  
男「いや、普段一言で済ませるとこも五・七・五でどう言うのかなと」  
女「知りたくば 何か私に 言ってみて」
- 46 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:10:33.00 ID:bLQh9aQx0  
>>44の続き  
  
男「こんにちは」  
女「こんにちは 今日が 天気がいいですね」  
男「じゃあな」  
女「さようなら 明日の朝に また会おう」  
男「ごめんな」  
女「別にいい 私は特に 気にしない」  
男「・・・(即答だ さすがは女 慣れている ちょっと変化を つけてみようか)」  
男「(・・・あれ、今俺まで歌っぽく まあいいか)」

男「おい女、髪の毛にゴミついてるぞ」  
女「えっどこだ 悪いが男 とってくれ(即答)」  
男「コイツすげえwwww」

47 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:14:31.82 ID:a9BCWYxi0  
~教室~

女「……(熱心に本を読んでいる)」

男「女、何の本読んでるんだ？」

女「案ずるな、夜伽の準備 抜かりない」

男「お前は公衆の面前で何を読んだるかぁ！！」

女の手 叩かれ落ちる 春画本

ふむ。挑戦してみた。

48 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:23:43.16 ID:mvg7KMRHO  
>>45を読んだ感じでの女の印象はハルヒの朝倉さん

49 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:30:36.47 ID:a9BCWYxi0  
~教室~

男「なあ、女？」

女「どうしたか 真面目な顔は 似合わぬぞ？」

男「うっせ、ほっとけ。……で、お前は、会話を五・七・五で済ませるけど、実際の俳句はどうなんだ？ 試しに詠ってみせてくれよ」

女「……細雪。ふりて消えゆく 我が想い」

男「季語は細雪か」

女「細雪。想いにふりて かけてみた」

男「えーっと……。あ、降り、と振りか？」

女「ご名答。話題を振るも 意味はなし」

男「……それは、誰のことだ？」

女「さて知らぬ。私は一句 詠んだだけ」

男「このやろ！」

鈍い君 しかし想いを 伝えよう

50 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:34:18.36 ID:9nz2ph650

良スレに w k t k しないで何をする

51 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:36:11.10 ID:bLQh9aQx0  
>>49  
テラウス

52 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:40:58.55 ID:mvg7KMRHO  
あげておくとにかく一度 あげておく

53 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:44:07.72 ID:a9BCWYxi0  
~教室~

男「女、後生だ！ さっきの授業のノート見せてくれ！」

女「君の言う 後生はこれで 何度目だ？（ノート取り出しながら嘆息）」

男「あっはっは……。いや、悪い。どうしても、眠気に勝てなくてなあ」

女「眠気には 勝てというのが 無理とでも？」

男「決まってるじゃないか。勝てる奴なんて絶対にいないって」

女「否定せぬ ただし寝る場は わきまえろ」

男「へいへい……」

女「……身を案ず 私の言葉 軽んずか（貸そうとしたノートをしまいだす）」

男「だ一、悪かった！ 悪かった！ 今度から寝ないように気をつけます！ だから頼む！！」

ため息を 吐きつつノート 貸す女

54 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:45:26.45 ID:RIbWoR5EO  
そういえば 和歌には季語は いらぬよな？

55 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:54:10.21 ID:bLQh9aQx0  
季語などが 別にいらぬは 川柳じゃ？

56 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:55:24.35 ID:a9BCWYxi0  
>>54

どうだろう？ 実はあんまり 知らぬ俺

~通学路~

女「やあ男、どうやらあまり 寝てないな？」

男「……あゝ ~……。まあ、な……。昨日の宿題、大量にあったじゃないか……。女は？」

女「……………（顎に手を添えるようにして、思案してる）」

男「……女？」

女「記憶なし どうやら聞いて ないらしい」

男「単純に忘れてただけだろうが、聞いてないとかじゃなくて」

女「ツッコむな 私もたまに ミスがある」

通学路 歩む足取り 重くなる

57 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:56:39.22 ID:RIbWoR5E0

>>55

5・7・5 7・7ならば 季語いらぬ  
と記憶にある おれは間違い？

58 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:56:47.67 ID:FNLnhTI70

ねむいよお  
でもこれ見たくて  
しょうがない  
受験の日まで  
ひと月ないのに

59 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/24(水) 23:59:07.25 ID:wGRhchgk0

>>58 俺も仲間だ 受験生  
私立の受験 月曜なのに

60 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:00:31.96 ID:eYZqC7Ts0

>>59

仲間だな でも俺私立 併願を  
取れてよかった 滑り止め (字足らず)

61 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:03:39.37 ID:oEpuysn00

VIPして 受験失敗 テバ`奴

63 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:07:20.90 ID:NNqOGm3v0

>>61

それがVIPPER まさにVIPPER

62 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:07:12.12 ID:6FCduRw90

>>58

案ずるな きっと保守する 人がいる  
かく言う俺は すでに眠いが

~ 商店街 ~

女「…………… (ある店の前でジッとウィンドウガラス見てる)」

男「……女？」

女「(ビックウツ!) い、いかがした!? 私に何か、問題が!？」

男「いや、問題は何も無いが、何かしたのか？」

女「いや何も、だが唐突で 驚いた」

男「唐突も何も、普通に近づいて声かけたただけだが……」  
女「そうなのか 忘我の中で 知らなんだ」  
男「……あ、そ、何見てたんだ？」  
女「ぬいぐるみ、こういうものは 見ちゃダメか？」  
男「いや、別に悪くはない」  
女「まあしかし 似合わぬだろう 私には」  
男「いいんじゃないか？ 可愛い子に可愛いヌイグルミの取り合わせは普通だろ？」  
女「……天然の 女垂らしか なんて奴……」  
男「いきなり何だよ!？」

夕暮れに 真っ赤に染まる 頬感ず

改行が 多すぎますと 弾かれたorz

65 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:09:50.52 ID:JUnymwvm0

めんどくて  
中出ししたら  
ガキ出来た  
仕事探しが  
鬱な毎日

66 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:15:07.56 ID:6FCduRw90

~学食~

女「……群がりし 有象無象に 打ち勝てぬ(人だかりを前に)」

男「っし、いいモン買えた、っと……、何だ女、今日は購買か？(購買の人だかりから出てきながら)」

女「救世主 恐らく君を 言うのだな」

男「……は？」

女「もう一度 舞い戻るんだ 戦場に、ちなみに私 アンパンがいい」

男「俺が行けと!？」

真理なり、女の涙に 勝てぬこと。

会話文 女が短歌に なっちゃったorz

67 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:22:37.85 ID:NNqOGm3v0

>>46のような感じで

男「朝メシ何食った？」

女「目玉焼き 私はモチロン 醤油派だ」

男「昨日何時に寝た？」

女「一時ごろ ちょうどチンパン 見終わった」

男「遅いな(・・・深夜番組とか見んのか)」

男「授業中寝るなよ」

女「案ずるな 私を誰と 心得る」

男「でも無理もするなよ 心配だから」

女「男君 結局どっちに すればいい 今のは少し 嬉しかったが・・・」

微妙なり だんだん眠く なってきた

68 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 00:22:58.75 ID:6FCduRw90  
~屋上~

女「青い空。この幸せは 捨てがたい」

男「.....確かに今日は快晴だが、そこまで言うほどのモンか？」

女「気づかぬか.....。まあ言う前から 分かったが」

男「いや、何が気づかないんだ？ 何か空に特別な形の雲とかでもあんのか？」

深くつく ため息空へ 消えていく。

ネタ出しを やるだけやって 寝るかなあ.....。

69 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 00:24:25.42 ID:iV0Aa8IY0  
卒業文集に俳句必要だ  
才能ある君 作って欲しい

77 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 00:54:51.16 ID:Rm9x+Cw90  
>>69  
vipなら 安価で作れば いいだろう

71 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 00:33:19.66 ID:wx6k2FGW0  
>>69  
二次元を卒業できぬ性なりや

72 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 00:34:20.91 ID:6FCduRw90  
>>69  
思い出が 花散る後の 糧となる  
題無いの？ 無ければこんな 感じだが。

~ 体育館 ~

女「.....球技なぞ 私が出来ると 思ったか」

男「はいはい..... (嘆息)」

鼻血出る 鼻に詰め物 球は痛い.....。

74 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 00:39:19.62 ID:P+7gNFdk0  
>>57  
季語などが  
別に要らぬは

川柳と  
七・七足して  
狂歌と呼ぶもの

字あまり

75 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:42:37.59 ID:NNqOGm3v0  
>>74

てなことでも みんなも好きに やってくれ

76 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:48:29.33 ID:6FCduRw90  
~ 並木道 ~

女「…… (ゆっくりとした歩調で並木道を散歩してる)」

男「お？ よう。女。散歩か？ (その姿を見つけると、駆け寄ってくる)」

女「無粋だな。君は情緒が 足りてない」

男「で、出会い頭にそれか？」

女「冗談だ。暇なら一緒に 行かないか？」

男「んー。まあ、確かに暇っちゃ暇だな。うん、付き合おう」

緩々と 進む歩調と 経つ時間。

78 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 00:57:39.45 ID:uEcTJWR+0  
保守をして今日は寝ちゃおう 眠いしな

79 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 01:02:43.01 ID:Rm9x+Cw90  
保守代わり ねたもないのに 一句詠む

気がつけば 研究室に 俺一人  
受験生たち 先も長いぞ

80 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 01:09:16.30 ID:6FCduRw90  
~ 通学路 ~

女「一日の 始まりの鐘 聞こえてる……」

男「遅刻者が悠長に五・七・五を言うな！ 走れ！」

女「朝なのに……。力が出ない 眠いから」

男「知るか低血圧かよ、お前は！」

走っても ホームルームに 間に合わず。

ネタ出しも そろそろ終わり 寝るかなあ  
スレがあったら また来ようかな

81 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 01:19:59.64 ID:NNqOGm3v0

>>80

乙でした 残ればいいね 俺も寝よ

82 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 01:34:46.27 ID:69BtDwpy0

男「お、女は弁当なのか」

女「から揚げに 野菜一式 白米だ」

男「ひょっとして自分で...？」

女「まあそうだ だったらどうする やらないぞ」

男「マジか！ すごえ... 普通に感心した」

女「...///」

男「じゃ、おれ学食だから、またな」

女「...もしキミが 望むのならば 作ろうか...？」

男「えっ、そ、それホント？」

女「あ、あ、あ、いや、迷惑ならば やめとくが」

男「あわてながらもリズムは5・7・5なんだな...」

84 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 02:00:02.13 ID:s5DPSDNw0

このスレを

お守りします

好きだから

気合いをいれて

「保守」と書き込む

保守

85 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 02:21:56.37 ID:DJG1r5QGO

書き込みが

すべて川柳

良スレだ

86 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 02:30:10.87 ID:/atKr3jc0

なかなか

をかしスレをば

見付けたり

87 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 02:41:18.64 ID:k/Kszi3r0

帰り道に行く二人

女「最近はずっかり寒く なったなあ」

男「それはそうだろ 冬なんだから」

女「だけど今 心は熱いの 分かってる？」

男「.....好きな男に 告られたとか？」

女「.....いや違う ちょうど今から 告るところ」

男「ちょうど今から？ それってまさか!？」

女「君のこと 大好きなんだ 本当に どうか私と..... 付き合っしてほしい」

男「.....お前の事 変なやつだと思った」

女「やはり私は.....変な女か」

男「でも今は 俺も立派に 変なやつ お前と話すの すげえ楽しい」

女「!？」

男「お前のこと いつしか好きになっていた 俺でいいなら どうぞよろしく」

女「何を言う 君でなくては 嫌なんだ」

男「.....幸せつーのは こういうことが」

雪が降ってくる

男「.....手え出せよ 手袋ないと 寒いだろ」ぎゅっ

女「この手が私の 幸せの証」

女「.....幸せよ この雪のように 降り積もれ」

男「ただただ積もれ とけることなく」

こんなんで いいなら保守を 手伝おう

88 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 02:42:02.19 ID:Tzuz8Rlr0

...難(むずか)しい、保守代(ほしゅが)わりに、スレ汚(よご)し。

授業中。

女「漣(さざなみ)に、浸(つ)かって生(い)きる、日常(にちじょう)は、悪夢(あくむ)のよう  
に、私(わたし)は思(おも)う。」

男「.....唐突(とうとつ)に、そんな愚痴(ぐち)など、言(い)われても、誰(だれ)もが思(い)  
い、苦惱(くのう)してるし。」

女「だがしかし、惰性(だせい)に生(い)きる、ことは嫌(いや)。」

男「.....とりあえず、今(いま)はともかく、授業(じゅぎょう)だよ？ 後(あと)から僕(ぼく)  
が、相手(あいて)するから。」

女「むっ、男(おとこ)、子(こ)ども扱(あつか)い、私(わたし)、嫌(いや)。」

先「.....お前(まえ)たち、一応(いちおう)今(いま)は、授業(じゅぎょう)だぞ、そんなに俺(おれ)  
が、嫌(きら)いなのかね？」

男「ほら、女(おんな)、遊(あそ)んでるから、怒(おこ)られた。」

女「.....もう、だから、私(わたし)は子供(こども)、違(ちが)うもん。」

男「そんなこと、言(い)ってる間(あいだ)、その証(あかし)。」

先「.....頼(たの)むから、少(すこ)しは俺(おれ)の、話(はな)し聞(き)け...。」

89 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 02:49:38.94 ID:Qt0019tJ0

男「.....(ジ-)」

女「何か用？ あまり見つめちゃ はずかしい」

男「女(め)って改めて見るとスゲーかわいいのな」

女「唐突(とうとつ)に 嬉しいことを 言うじゃない」男「いや、さっき友達と話(わ)せて女(め)の話題(わだかま)になっ  
てな、あいつら女(め)の事(こと)ベタ褒(ほ)めすんのだよ」

女「おだてても この大福(だいふく)は あげないよ」ちぐ ちぐ

男「口(くち)いっぱい頼(たの)張(は)るなよ...、せっかくの可愛(かわい)い顔(かほ)が台(たい)無しだぞ」

女「一個(いっご)だけ 一個(いっご)だけなら 食(た)べてよし(///)」

91 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 03:03:25.54 ID:44bkzmrz0

ヒートに

「スルーするっ！ そんなお前(まえ)がっ！！ 好き(すき)なんだああ！！」

「今日(けふ)こそはっ！ 私(わたし)がお前(まえ)をっ！！ 落(お)として見(み)せるっ！！」

電波(でんぱ)に

「前世(ぜんせい)から あなたのことが 好き(すき)でした」

「1万(いちまん)と 2千(にせん)年(ねん)ぶりに こんにちは」

よくわからない

「腹が減り 君の体に 舌鼓」  
「寒いけど やっぱり食べたい 氷柱かな」

92 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 03:18:22.82 ID:kF3Bxiv+0

女「男君、よければノート借りれない？」  
男「いいけどよ……どしたんだ？普通に授業出てただろ」  
女「ちょっとだけ……ボットしてたら、終わってた」  
男「駄目だろう、常識的に考えて……」  
女「うん、ごめん……言っとくけどね、男君、私がぼうとしてた理由は……」  
男「いや別に聞きたくないが……なんなんだ？」  
女「やっぱいい、言いたくないし、恥ずかしい」  
男「気になるぞ、なんだってんだ……焦らすなよ」  
女「……私はね、ついつい見てた、男君……外を見ながら眠ってるのを」  
男「な……！？」  
女「やっぱいい！ノートいらない！ありがとう///！！」  
男「お、おい待てよ！？なんだよそれは！こら待てよ！」

95 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 03:30:05.71 ID:Tzuz8Rlr0

お昼。  
女「人々(ひとびと)の、間飛(あいだと)び交(か)う、金色(こんじき)の、蝶(ちょう)の羽(はね)を、我(われ)は欲(ほっ)する」  
男「甘(あま)い夢(ゆめ)、思(おも)い描(えが)くは、自由(じゆう)なり、現実(げんじつ)、財布(さいふ)、中身(なかみ)は空(から)だ。」  
女「ひもじいよ、なんとかしてよ、お願い(ねが)いよ。」  
男「そんなこと、僕(ぼく)にもできる、ことならば、もうやってるよ、ひもじいですね。」  
女「はあ、だよ、聞(き)いた私(わたし)が、馬鹿(ばか)だった。」  
男「昼(ひる)ご飯(はん)、二人仲良(ふたりなか)く、コッペパン、はあ、お弁当(べんとう)、おいしそうだな……」  
女「あの、そのね、私(わたし)がそのね、お弁当(べんとう)、よければだけど、……なんでもないよ、/////」  
男「言(い)いかけた、少(すこ)しだけどね、お弁当(おべんとう)、期待(きたい)したのに、残念(ざんねん)だった。」  
女「そんなにね、言(い)うなら私(わたし)、作(つく)ろうか？別(べつ)に気(き)まぐれ、意味(いみ)はないわ。」  
男「分(わ)かったよ、そう言(い)う事(こと)に、しておくよ。」  
女「……違(ちが)うもん、ホント気(き)まぐれ、なんだから、/////」

丑(うし)の刻(こく)、我(われ)もそろそろ、寝(ね)るとする。

96 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 03:30:40.04 ID:HUsCryjD0

このスレを  
落とせぬ理由は  
特(とく)にない  
あるとするなら  
ストレス発散

字余りしちまった

97 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 03:37:51.05 ID:AbKjZmd60

職人が  
皆無(みな)となりぬ

丑の刻

98 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 04:03:29.24 ID:AbKjZmd60

日本語の  
良さを伝える  
このスレは  
我一人でも  
守りぬくなり

99 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 04:19:03.84 ID:WOW7413D0

女「恋心 きっと量れぬ その想い」  
男「...想いと重い、ね。また急にどうしたよ？」  
女「男くん 勉強ばかりで つまらない 少しだけでも 構ってほしいな」  
男「まあ待てよ あと十分で 閉館だ 帰りはご飯 食べに行こうか？」  
女「歌よりも 勉強の方に ベクトルを」  
男「...スマン。もうちょっとだけ待ってて」  
女「了承だ なるべく早く 終わってね 私は少し 眠いんだから...」

男「おーい、女。終わったぞ...って、寝てる」

女「zzzzz...zzzzzzz...zzzzz...」

男「仕方ないな。...ヨツと」ドゥ

女「...何だろう 何故だかとても 心地良い」

男「俺の背中はそんなに安らぐか？w」

女「男くん！？ ...ここで降ろして 恥ずかしい///」

男「却下。人居ないし、もうちょっとこのままでいさせろよ」

女「...了承だ 実は結構 悪くない」

男「それにこのままだったら、女の胸の感触が堪能出来るからなwww...意外と大きいんだな」

女「このスケベ！ 早く降ろして！ セクハラだ！」

男「諦めるw 逆に考えるんだ。家に帰るまで歩かなくていい、と思うんだwww」

女「...もういいわ 家に着いたら 起こしてね 気持ちいいから 少し眠るね」

女「zzzzz...zzzzzzz...zzzzz...」

男「(...幸せの 重さの答えは 我が背中 ってか)」

100 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 04:19:48.87 ID:k/Kszi3r0

>>87から続けてみる

女「.....白い息 重ねて二人 道に行く」

男「重ねるのは息 だけでいいのか？っと」

女「？」

男「なんでもない 独り言だよ 気にするな」

女「.....ずいぶん大きな 独り言だけど？」

女「.....左手が つないでないから しもやけに」

男「ちょ.....大丈夫か！？ 見せてみr」

ちゅっ

男「あ.....」

女「嘘でした 今日これで 許してね」

101 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 04:54:35.76 ID:AbKjZmd60

しつこいと  
思われても  
仕方ない

102 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 05:21:37.73 ID:WMo28WWi0  
このスレは  
ほんとにとても  
素晴らしい

保守をするのが  
少しムズいが

103 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 06:06:37.20 ID:/atKr3jc0  
やらせはせん  
やらせはせんぞ  
dat落ち

104 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 07:11:11.11 ID:uEcTJWR+0  
保守するか朝もはよから 保守するか

105 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 07:14:22.31 ID:6FCduRw90  
今沖田 皆おつかれ さぁ書こう

~学校~

男「おーい、女ー？」

女「ん、うえ？ あう？ .....どうもおはよう。.....今何時？」

男「すでに放課後。.....で、前に場所をわきまえて寝ろ、と言っていたが、どういうことだ？」

女「.....揚げ足を 取る気が君は しょうもない.....」

男「うっせ！ 自分で言ったことくらい、自分で実践しろや！！」

女「すぐ叫ぶ.....。少しは声を 抑えたら？」

男「ぐぁ~、反省の色がねええええ！！！！」

悪びれる そんな色なく 会話する。

出来るだけ 暇を見つけて 書き込もう。  
ひとまず一個 投下するっさ。

106 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 07:54:56.13 ID:uEcTJWR+0  
このスレは1000はいかねど 三日は残る

107 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 08:19:06.80 ID:44bkzmrz0

別れ

女「『さようなら』 あなたの背中 遠ざかり 冷たい涙 零れて落ちる……」  
男「目を閉じる 自分の心 弱すぎて あいつのことを 信じられずに」  
女「誤解から 入った亀裂 深い溝」  
男「俺はまだ 忘れられない あの笑顔」

募る思い

女「夢がさめ 目頭熱い 冬の朝」  
男「寂しげな 彼女の顔が 悲しくて」  
女「風に聞く あなたがここを 去るのだと」  
男「最後さえ ありがとうとは 言えなくて」  
女「耐えがたい あなたのいない 同窓会」

"再会"

女「穏かな 春の日射しが あたたかく 静かに君を 見守るように」  
女「石の下 眠るあなたに 手を合わせ」  
女「今までも これから先も ただ一人 あなたのことを 思い続ける」

108 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 08:51:34.98 ID:F08kVSxG0

あれは皐月の頃。

高校という新しい学舎(まなびや)で過ごし始め、早一月が経過した。

遠巻きに感じる視線。馴れたものである。気にしなければ何という事もない。

入学当時は慌ただしかった。誰も皆、新しい環境で友を作るのに必死なのだ。  
そんな中私のような変わり者が居たのだから仕方ない。  
大勢に囲まれ質問を受け、言葉を発するだけで驚かれた。

しかし、それも所詮は最初のみ。何の発展も面白みもない私の特徴は日を重ねれば飽きがかかるのだろう。  
日数に比例するように一人減り……二人減り……昨日はついに誰も来なかった。ただ奇異の視線を向けられるだけ。

109 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 08:52:10.27 ID:F08kVSxG0

だがそれも馴れたもの。分かっていた。分かりきっていた事。何も変わらない。去年までと同じ3年間を過ごすだけにすぎない。そう、何も変わ

『なあ』

110 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 08:52:14.72 ID:Kp6d9rJA0  
このスレを  
通して読んで  
思うこと  
VIPPER才能  
浪費しすぎだw

111 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 08:56:35.24 ID:F08kVSxG0

『……………』

『無視すんなよ』

『……………』

『暇そうだな 良ければいいが 飯でも食わないか』

『……………』

『……………』

『……………(はぁ…)五七五 その法則を 知らぬのか』

それは出会い。私を変えた出会い  
始まりの月から一月遅れた私の始まり

その人はまるで少年のような笑顔を浮かべて言い放つ

『悪いな。俺は口語自由文派なんだ』

それは、始まり

『で、どうよ』

それが、始まり

私は無言で頷いた

112 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 09:06:05.53 ID:xqqqrXNw0  
ageage

113 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 09:14:09.08 ID:NNqOGm3v0  
>>112  
IDが なんだがすごい お前さん

115 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 09:24:24.66 ID:NNqOGm3v0  
皆さんが がんばりすぎて 立ち場無し でも頑張ろう 一応>>1だし

118 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 09:30:22.44 ID:/atKr3jc0  
新ジャンル  
>>1独壇場

それ良ろし  
されど皆で  
盛り上げが良し

120 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 09:32:00.90 ID:F08kVSxGO  
睦月の頃

何故か毎日のように彼と私は昼食を共にしていた

男『お前さ、いつも緑茶だよな』

\*『悪いのか 私の家は 常に緑茶だ』

男『いや、悪くはないけどさ... カレーパンに緑茶か...』

\*『何を言う 思ってる程 悪くない』

男『いや人の好みにケチを付ける気はないけどさ...』

\*『...分かってる 私が変と いう事は』

男『そういう意味じゃなくて... ほら、これでも飲んでみ？』

\*『!!!!????』

...の、飲みかけっ...!?

男『そんな簡単にネガティブになるのは糖分が足りんからだ。それでも飲んで落ち着いとけ』

\*『...(ちゅ~)』

男『お前は自分で思ってるほど嫌われてないって言ったろ？謙虚なのは良いけど、卑下は良くないぞ』

\*『.....(ちゅ~)』

男『もっと自信を持て。お前は俺から見ても』

\*『(ずぞぞぞ)』

男『あ！てめ！全部飲んでいいって誰が言った！？』

初めて飲んだほっとここあは温かくて甘かった

123 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 10:07:16.09 ID:6FCduRw90  
~教室~

女「.....(本を読んでる)」

男「本か.....また、前みたいにエロ本じゃないよな？」

女「.....失礼な。これは立派な 指南書だ」

男「四十八手解説書は、十分エロ本じゃ、ボケえ！」

女の手 再び落ちる 春画本

124 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 10:10:31.03 ID:AzoYJyaN0  
女「男さん いつも一緒に ありがとう」

男「どうしたんだよ急に」

女「喋り方 不気味と皆は 言うている」

男「ああ、最初は俺のビビったけど、もう慣れたよwww」

女「昔から 私はいつも 一人きり」  
「理由はそう この話し方 嫌われる」  
「でも貴方 嫌わず私と いてくれた」

男「育った環境が環境だからな。言ってみれお前も被害者なわけだ。  
だからって言うてお前が酷い人間じゃないって事は俺がよく知ってる」

女「ありがとう 貴方の言葉 温かい」

126 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 10:37:45.28 ID:6FCduRw90  
~教室~

男「ふむ。……うーん……」  
女「お悩みか？ 私でよくば 話さぬか？」  
男「……………いや、いい」  
女「今の間の ワケを詳しく 聞きたいが……？」  
男「OK。顔寄せてくるな。ドス聞かせた声で喋るな。怖い怖い怖い怖い」  
女「それならば 素直に言えば よいものを」  
男「脅迫紛いで言わせるんじゃないかねえか。素直とかじゃなくて」  
女「心配を してやってるのだ 感謝しろ」  
男「へいへい……。って言うても、まあ、単純に昼飯代忘れてきただけなんだがな」  
女「……昼食か。良くば私の 食するか？」  
男「いや、そういうだろうから言わなかったんだよ」  
女「優しいな。それが君の 利点だよ（ふっ、と笑いながら）」  
男「へいへい、あんがとさん……」  
女「金もある。遠慮はするな 食べるんだ」  
男「……いや、金あるなら、貸してもらえればいいんだが」  
女「……弁当を 食して欲しい。……駄目なのか？」  
男「ぐっ……。わかった、わかった……。上目遣いで見るな。そういうの、弱いんだから（嘆息）」  
女「よかったよ。今日は嫌いな モノがある」  
男「嫌いなモノ食わせたかっただけかい！！」

文句いい それでも食べる 優しさや

質よりも 量でカバー それが俺……。  
だって萌えるの 書けないからねorz

127 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 11:08:39.61 ID:6FCduRw90  
~公園~

女「冬風や 我が身を切りて 何を思ふ……」

男「言ってる意味がわかりません」

女「寒いねと 言いたかっただけ。わからない？」

男「普通に一句詠んだだけで、そこまで分かれ、というのが無茶だ」

女「少しだけ 遺憾な思い 身を包む……」

男「もう少しわかりやすい表現をしろっての！」

冬風や 想いを伝う 伝書鳩

130 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 11:44:49.46 ID:F08kVSxGO  
7月の事

早朝から目が冴えたからとはいえ、さすがに早く来すぎたようだ。いつもの通学路に誰一人いやしなかった。

童心に帰ってグラウンドで一人サッカーでもしてやろうかと思いながら下駄箱を開けると、茶色くて微妙にデカイ便箋...いわゆる封筒が上靴の上に置いてあった。

俺『いや何で封筒なんだよ』

この価値観のズレっぷりから誰からの物なのか予想はついたが、ひとまず今すぐ中を確認してみよう。しなくてはいけない。そんな気がする。

俺『.....は?』

良く分からないソレを眺めながら教室に行くと、一人佇む黒髪女がいた。

えらく早い時間に来たんだなアイツも。しかし封筒と便箋くらいは使い分けてほしいものだと思う。

男『なあ』

\*『...っ!?』

男『差出人書いてなくても文面から一発でお前からだって分かったけどさあ...、これ何なんだ? 季節も明らかに違うし、何か意味が』

\*『大変だ 忘れ物した 帰らねば』

男『ちょっ...おい?』

人の制止も聞かず去っていく黒髪五七五女。っていうか一体何を取りに帰るつもりなんだヤツは。

男『まあ...悪い意味じゃなさそうだし、別にいいか』

一人呟き封筒をポケットに...入らねえ。鞆の中に放り込み、誰も居ない教室で一人机に着く。

さて、明日から夏休み。アイツをどこに連れ回してやろうか。

なかなか見応えのあるリアクションを想像して、思わず笑みをこぼした

『暖かき ただ咲き揺れる 桜かな』

桜の花言葉の一つ：あなたの微笑み

132 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 11:51:32.02 ID:F08kVSxGO  
>>130

セリフの名前が『男』と『俺』で混ざったぜwww読むときは男でお願いww

読む人がいるならね...orz

131 : 愛のVIP戦士 : 2007/01/25(木) 11:45:23.06 ID:6FCduRw90  
~教室~

男「.....」

女「YZは X軸と 交点で.....」

男「数学のことまで、五・七・五で言わなくても.....。正直わかりづらい.....」

女「文句なら 解き終わってから 聞きましょう」

男「その解こうとしてる問題を聞いているのに、それがわからねーんだっつもの！」

五七五 彼女の言葉 伝わらず.....。

133 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 11:55:35.16 ID:rc300o8K0

男「やらないか？ やらないかったら やらないか？」

女「お断り がつく男は 好きじゃない...」

男「なんでだよ ? 俺たち結構 長いだろ？」

女「...どうしても やるといふなら 賭けをしよう(余

私への 愛の深さを 俳句で詠え(余)

男「愛の深さ？ 把握した ちょっと考えさせてくれ。」

数分後...

男「出来た 出来たww女!心して聞けよ！」

女「クッ(ドキドキ)」

男「一億と 二千年前から 愛してる」

134 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 12:02:17.04 ID:Tzuz8Rlr0

女「雨(あめ)の音(おと)、詩人(しじん)にさせる、その音色(ねいろ)、憂鬱(ゆううつ)な空(そら)、止(や)まぬ雨音(あまおと)。」

女「暇(ひま)つぶし、英語(えいご)で言(い)うと、キルタイム、特(とく)に意味(いみ)なし、暇(ひま)なんだよう...。」

女「君(きみ)、いない、寂(さび)しく過(す)ごす、日曜日(にちようび)、電話(でんわ)でもして、くれないのかな.....。」

女「少(すこ)しだけ、君(きみ)のことでも、考(かんが)える、私(わたし)は君(きみ)を、どう思(おも)うのか？」

女「.....特(とく)に意味(いみ)、ないんだからね、暇(ひま)つぶし、////////.....誰(だれ)に向(む)けての、言(い)い訳(わけ)かしら。」

(.....我描(われえが)く、絵空事(えそらごと)にも、傾(かたむ)ける、優(やさ)しい君(きみ)が、大好(だいす)きなよ。)

女「.....もう少(すこ)し、素直(すなお)ならば、貴方(あなた)にも、伝(つた)えられるかな？私(わたし)の心(こころ)。」

女「もしもして、勇気(ゆうき)を出(だ)して、掛(か)けてみた、君(きみ)の番号(ばんごう)、早く(はや)出(で)てよね。」

男「.....こんばんは、君(きみ)から掛けて、くるなんて、明日(あした)は槍(やり)が、振(ふ)ってくるかも。」

女「.....もうなんで、女心(おんなごころ)が、分(わ)からない、.....それでも私(わたし)、君(きみ)が好(す)きなよ。」

女「暇(ひま)つぶし、相手(あいて)しなさい、それだけよ、唯一(ゆいいつ)、それが、君(きみ)の取(と)り柄(え)よ。」

正直ね。難しすぎて、疲れるよ。いい作品を、作りたいのに。

135 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 12:06:26.67 ID:6FCduRw90  
~公園~

男「お。タコヤキの屋台……」

女「……食べたいの？ なら仕方ない 付き合おう」

男「……素直に、食いたい、って言え」

女「食したい。女性に言わせる 言葉かな？」

男「でも、食いたいのは確かだろ？」

女「違いない。まゝ不問かな この話題。食べに行こうか タコヤキでもね」

男「へいへい」

寒空に タコヤキの湯気 白く立つ。

136 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 12:37:10.99 ID:7PKQq88v0  
階段を 上ったつもりが降りていた 頭がどうにか なりそうだった

落ち着こう 素数を数えて 落ち着こう

ジョジョネタで 正直スマン 邪道保守

141 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 13:42:36.56 ID:uEcTJWR+0  
そろそろさ 絵師さん降臨 しないかな そう思うのは 俺だけか(字余り)

143 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 13:47:21.12 ID:5CXjD+J80

女「俺様が 殴ったものは 皆燃える」

男「恐ろしすぎる ちからだぜ」

144 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 14:07:07.53 ID:wx6k2FGW0  
<http://up2.viploader.net/pic/src/viploader401814.jpg>

保守がてら だまし絵なぞを 貼ってみる  
なんかサイズが でか過ぎるけど

145 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 14:16:15.11 ID:ZF18Tjwg0

ドンッ！

男「おいてめえ！ ぶつかっというて 無視ってか！！」

女「な...なによ！ あんたの方から 来たんでしょ！！」

男「んだとコラ！ とにかくあやま...どこに行く！！」

女「うるさいな！ 私すっごく 急ぐのよ！」

男「待てよオイ！...何だってんだよ まったくよ...」



>>147

この前に **すでに似たのが あったのか** でもよく見ると **少し違うが**

151 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 15:27:43.48 ID:ES43U21J0

女「バレンタイン、今年は迷わず告白よ！」  
弟「どうせ無駄だと思うけれどさ」  
女「ほかの子がチョコレートばかりあげるなら……っ」  
弟「都こんぶを渡してみたら？」  
女「ひとごとと思ってやがるな。この愚弟」  
弟「見てる分には面白いけど」  
女「ちょっと待て……インパクトならあるかもな……」  
弟（これじゃあ今年も駄目かもしれんね……）

155 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 16:37:38.40 ID:6FCduRw90

>>147

このスレと 書く縛り方 相違有り

～通学路～

男「ゆるゆると、進む道なり どこへ行く」

女「すすめる道は 歩め旅人」

男「……女、いつの間に……」

女「奇遇だね。しかし一句を 詠むとね……」

男「うるせ。たまには詠んだっていいだろ。お前の影響だよ」

女「ありがたい。ようやく自覚 出てきたか」

男「さて。自覚って何だ。自覚って！」

女「さて何だ？ 別段何も 言わないが？」

男「てめ、このやろ！」

勧めよう 進める道の 一本を。

156 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 17:15:55.26 ID:DON6CYi10

このスレは **レベル高いな** **保守しよう**

157 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 17:22:59.28 ID:gKziwJ050

我見つけ  
これは良スレ  
保守をする

にしてもさ、このスレ凄い人多い

158 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 17:42:12.13 ID:6FCduRw90

～教室～

女「.....我思う、この仕打ちには 納得が.....」

男「.....自業自得って言葉、知ってるか？」

遅刻組 現在説教 食らってる。

160 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 17:52:22.61 ID:gKziwJ050  
>>158

なんか君、みたことあるぞ、きのせいか？  
マツタリしすぎとかにいるかも

161 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 17:55:31.63 ID:TNF8mOZK0

付き合い始めてしばらくして君はお昼ご飯を作ってきてくれて、  
いつも食堂だった僕はよるこんで貰うことにした。

「はいご飯 お口に合うか 不安です」

「いやいや、作ってくれるだけでうれしいよ」

いただきますと言ってご飯に手を付けた僕を君はお箸を持ったままじっと見ていた。

「お、この唐揚げなんて美味しいね」

「ありがとう でもそれ実は 冷凍よ」

「.....」

「.....」

なんて気まずい昼ご飯だ。

162 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 18:03:32.09 ID:6FCduRw90  
>>160

ご名答。マツタリしすぎ 初代>>1。

~教室~

女「見抜かれた.....。原因不明 なにゆえに.....？」

男「いや、頬にご飯粒つけたまま問題答えりゃ、バレるっての」

女「.....盲点だ。よもやそういう トコロとは.....」

鞆には 空の弁当 一個あり。

165 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 18:11:04.77 ID:gKziwJ050  
>>162

やっぱりか ここと向こうは 同じよう  
通ずる何か ある気がするよ

163 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 18:06:18.64 ID:44bkzmrz0

男「.....」(ヒルッ)

女「.....」(クス)

先生「こらそこ、男、女、ちゃんと話を聞きなさい」

男「恋人と 笑うことさえ 許されぬ つまらぬ時間 無意味な時間」

女「あなたとの 話の邪魔を する奴は 馬に蹴られて 死ねばいいのに」

先生「酷いよ.....」

164 : [愛のVIP戦士](#) : 2007/01/25(木) 18:09:28.05 ID:gKziwJ050

～夕方の教室～

女「君の事 思う時間に さく暇を 花舞う季節に 出会った君よ」  
男「女さん？」  
女「は、はい、なに？ 何か私に 用かしら？」  
男「あ、いや、別に、何をしているのかと思って」  
女「特に何 してるわけでも ないよ、けど 夕陽を眺め 過ぎる時間さ」  
男「確かに夕陽綺麗だよな」  
女「金色の 夕陽に煌く 銀杏かな  
ところで君は 何をしてるの？」  
男「忘れ物取りに来たんだ  
あ、そうだ、一緒に帰らない？  
いつも帰ってた奴等がもう帰っちゃたし」  
女「帰る道 同じ歩みの 同じ道  
いいよ私も 一人だったし」

書いてみた これは続かない ネタがないorz

166 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 18:24:04.34 ID:6FCduRw90  
～女宅～

女「.....さあ、どうぞ？ 君の手番だ 打ちたまえ」  
男「いや、まて。頼む、待ってくれ。その手は勘弁してほしいんだが.....」  
女「待ったなし。最初にそれは 言ったはず」  
男「ってというか、初心者相手にここまでやるか!？」  
女「.....4石置き。そこまでやって なぜ勝てぬ？（嘆息）」  
男「つくああああ！ くやしー!？」  
目数を 数える意味なく 勝利する

168 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 18:33:09.01 ID:k/Kszi3r0

ピンポン  
男「すみません。女さん起きてますか？」  
女母「すみません 起こしてくるから 待っててね」  
男（お母さんもしゃべり方一緒なのか）  
女母「ほら女 彼氏が来たよ 起きなさい」  
女「彼氏だなんて お母さんたら.....」  
男「ほれ女 さっさと走れ 遅刻する」  
女「はあ...はあ...体力ないの 知ってるくせに.....」  
女（にこっ）  
男「ん？」  
女「毎日が ウイニングランの 登下校」  
男「.....お前の笑顔が 我が金メダル」  
女「.....」  
男「恥ずかしい 何か一言 言いやがれ」  
女「何もいえない 言葉に出来ない」

169 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 18:45:20.22 ID:ES43U21J0

男「すっかり遅くなっちゃったなあ。あ～、寒っ」

女「冬雲も 三舎を避くる 月明かり」

男「ん？」

女に促されて見上げる学校帰りの夜空。  
さっきまで夜空を白く覆っていた雲が、月光の冷たさを嫌ってわかれ、  
冬の満月が顔を覗かせている。

女「梅檀の 月よりさがる 寒の夜……」

葉はすべて落ち、実だけがぶら下がる梅檀の大木。  
その枝の向こう側から照る月があまりにさやかで、月の花が実をつけたかのようだった。

男「たまにはこんな景色もいいかもな」

女「……」

男「……ん？」

そっと男の腕を取り、身を寄せてくる女。小さくくしゃみ。

男「風邪か？ 毎年、今年の風邪はたちが悪いらしいからなあ」

女「月影の 雪に変わりたる 帰り道」

冷たい光が結晶のようだと何の脈絡もなく思った瞬間、  
それは本当に雪となり、二人の上に落ちてきた。

女「……冬の月 自ら寒しと まとう雲」

男「うわっ、ふってきやがったよ……走るか！？」

しかし女は男の腕を引き、ゆっくりと歩き続ける。  
男は少し唇を引き結んだが、結局、女に合わせて歩き始めた。

170 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 19:06:19.53 ID:6FCduRw90

～教室～

女「……………（本を読んでいる）」

男「……もう三回目、もう三回目……。もー関わらんぞ。絶対に関わらんぞお～……（ブツ  
ブツ）」

女「……………この本の、これの内容 知ってるかい？」

男「絡んでくるな、ってかお前は相変わらず四十八手かい！？」

女の手 三度おちたる 春画本。  
そろそろコレも 苦しくなった。

171 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 19:30:14.40 ID:NNqOGm3v0

今日は女が学校を休んだ どうやら夏風邪らしい  
いつも季節を楽しんでるようなアイツでもこういうことはあるんだな  
というわけで今日は見舞いのため女宅に来た

女母「女ちゃん 愛しの彼が みえたわよ」  
女「お母さん！ 余計なことは いわないで！」  
女母「起きてるようね どうぞこちらに」  
男「お邪魔します・・・(お母さんも相変わらずだ)」

男「おーす女 風邪大丈夫か？」  
女「大丈夫 朝より熱も 下がったわ」  
男「ほらコレ 今日のプリントな」  
女「すまないな 君には世話に なってばかり」  
男「気にすんな 俺がしたくて してるんだ こんな感じか？」  
女「・・・・・・・・」

男「あれ、なんか顔赤いぞ」  
女「この顔の 赤みの故を 我知らず 熱の仕業か 夏の仕業か」  
男「恥ずかしかったんだろ・・・？ 本当は『君の仕業』ってところか」  
女「知りたれば わざわざ聞くな 意地悪め・・・」

久方ぶりに投下した 皆のレベルに 到達するのが 難しい

175 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 20:41:01.60 ID:UbBtAvG90

萌えるのに  
ああそれなのに  
私には  
保守する事しか  
できないのかな。。

本当は声でしようと思った。。面倒くさかった。w

176 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 20:51:50.18 ID:AbKjZmd60

昨夜から 応援してるぜ がんばれよ

178 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 21:11:18.66 ID:6FCduRw90

～公園～

女「.....心より 貴方に捧ぐ 我が想い。されど貴方は 気づくことなく.....」

男「ZZzz.....」

女「ひとまずは 寝ているコレを 起こす手を.....」

女の手 握り締めつつ 振り上げる。

179 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 21:14:59.23 ID:VqMtzbt10

志村けん いやりや長介 高木ブー

181 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 21:46:53.00 ID:uEcTJWR+0

保守しよう意外とかなり 落ちていた

185 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 22:40:17.07 ID:huaIYqYv0  
飲み会で  
好きなあの娘に  
メラゾーマ

186 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 22:40:40.35 ID:uEcTJWR+0

188 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 22:41:43.94 ID:huaIYqYv0  
ギガデイン  
グランドクロス  
ミナデイン

190 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 22:49:42.23 ID:BhCP+TqF0  
なんだここ我が心掴み 放さない

192 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 22:59:46.20 ID:6FCduRw90  
~教室~

女「.....如何にして この状況を 抜け出すか.....」

男「コラコラ。神妙な表情してないで、お前も掃除しろっての（ホウキの柄で女の頭を軽く小突く）」

女「君がいる.....。なんと巨大な 障害か.....！（ホウキを受け取り）」

男「褒め言葉に聞こえねえなあ」

女「もちろんだ。褒めてるはずが ないだろう？」

男「テメ、このやろう！？」

舞う殺陣を 見られ説教 30分。

193 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:03:07.51 ID:CR31+uD90  
右フック  
岩をも砕く  
ぼくニート

194 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:12:17.65 ID:AbKjZmd60  
明日まで  
あること願い  
床に就く  
だれかまとめを  
作っておくれ

195 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:22:12.72 ID:6FCduRw90

～グラウンド～

女「不公平。なぜ彼女らは 走れるの？」

男「1、お前が運動オンチ。2、お前の足が遅い。3、お前が体力が無い。どれだと思う？」

女「嫌味かな？ 選択肢には なってない……！」

男「無表情で声だけ凄い怒ってますね！？ ちょ、勘弁！！」

インドアに 走れというのが 無茶なのだ。

196 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:24:31.95 ID:ePJUyEOHO

お前らの  
クオリティ向上  
クリニック

197 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:25:47.43 ID:pmp+CYKO

もうダメだ  
そろそろ逝くねw  
さようなら  
(字余り)

198 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:33:33.03 ID:UbBtAvG90

まとめをね  
作くってもいいよ  
私なら  
作り方さえ  
分からないけど。。

orz

199 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:34:56.40 ID:eYZqC7Ts0

ハルヒにも  
俳句があるのを  
見つけたよ

何でだろう  
あなたを選んだ  
私です

冒険でしょでしょより

202 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:44:02.48 ID:UbBtAvG90

とりあえず。  
まとめ作ると  
@wiki  
いじってみるけど  
期待しないで。。

203 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:47:08.41 ID:wx6k2FGW0

123 4567 890 1112 1314

204 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:49:16.62 ID:ITBZYbGFO

>>202

大丈夫 もしもダメでも 大丈夫  
お前を叩く 奴などいない

205 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:49:25.85 ID:eYZqC7Ts0

>>203

よく意味がわかんないけどなんかすごい

206 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:56:23.57 ID:6FCduRw90

~ 教室 ~

女「雲流れ、のぞく太陽 影光……。イマイチすぎて 涙もでない」

男「自分の俳句にオチをつけるな（ペシッと叩く）」

昼休み そんな一幕 晴れ曜日。

単発で 目立たないけど 黙々と  
投下し続け 頑張るとする……。

ID:6FCduRw90 心の俳句。

207 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/25(木) 23:59:20.17 ID:UbBtAvG90

とりあえず出来るだけスレの内容は移しておいた。。

<http://www25.atwiki.jp/five-seven-five/>

これでとりあえずは安心。www

209 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 00:06:54.40 ID:RzXOMN380

このジャンル 色でいうなら 緑色

210 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 00:09:20.60 ID:xIWnORg50

>>207

よくやった  
本気グッジョブ  
ありがとう

211 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 00:14:04.81 ID:l1D7k7Ma0

新参で  
まとめつくったの  
初めてだ  
至らぬ点は  
指摘よろしく

212 : **愛のVIP戦士** : 2007/01/26(金) 00:21:47.92 ID:LHV6m/Of0

～教室～

女「……（水筒から茶を飲んでる）」

男「なあ、女。それって、緑茶？」

女「違うけど、それが一体 どうしたか？」

男「いや、何となく、女が飲んでるのって、緑茶や抹茶っぽいなあ、と」

女「……偏見だ。何て偏る 見方だか（嘆息）」

男「二回も同じ意味続けなくてもいいだろう！？」

麦茶飲み、潤う喉が また乾く。